

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|----------------------------------|
| 事業名 | 令和の筑北観光づくり |
| 事業主体 (連絡先) | 筑北村 観光課 |
| 事業区分 | (6)ア 特色ある観光地づくり |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 1,722,800 円 (うち支援金: 1,284,800 円) |

事業内容

筑北村を知ってもらう間口を広め、観光目的地として誘客を図るため、魅力創出の PR ツールとしてデジタルスタンプラリー事業を実施した。

1. テストスタンプラリーの実施

地域の方に広く意見を聞くこと、動作確認を目的に実施

2. 信州ちくほく村でのんびりスタンプラリーの実施

地域周遊型のスタンプラリーを実施

実施期間: 7月31日(土) ~ 10月31日(日)

3. 検討会の個別開催

事業の振り返りと今後の観光について意見交換のため実施
まん延防止重点措置のため個別での対応となった。



【スタンプラリー参加の様子】

【目標・ねらい】

- ① 筑北村知名度、認知度向上
- ② 目的地としての訪問者数増加

事業効果

- ① web 広告を用いたことで「筑北村」という名前を潜在層にまで広めることができた。
- ② 主に近隣市町村から目的地として呼び込み、気軽に地域周遊を楽しむ機会を提供することができた。また、スタンプラリーシステムと村の観光サイトを連携したことで、村への滞在時間の延長を図り、交流人口の増加、経済効果へ波及することができた。

※自己評価【B】

【理由】

目標としていた参加者数に到達し、訪問者だけでなく、村民の方にとっても村の新たな魅力に気づききっかけとすることができたため。

今後の取り組み

次年度も引き続きデジタルスタンプラリーを実施する。スタンプラリーのシステムに遊び要素を加え、スタンプスポットを巡るツアーを企画し、何度でも来たくなる筑北村の観光づくりを目指す。また、新たな客層の掘り起こしのため、効果的な露出先を引き続き検証していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある